

令和7年度 静岡市立中薬科こども園グランドデザイン

園目標

自分が好き
友だちが好き
薬科が好き

重点目標

自分で考えて、決めていく！
～見る・聞く・試す～

薬科中学校区教育目標

自立する子
やりたいことを自分で見つけ、他
と関わりながら自分なりの思いをも
って主体的に行動する

地域の特徴

- ・山間地で山や川、茶畑や田んぼ等豊かな自然に囲まれている。風景からも四季が感じられ落ち着いた静かな環境である
- ・地域の方も穏やかで、園に協力的であるが少子高齢化が進んでいる

子どもの特色（姿）

- ・穏やかで素直な子が多い。少人数のクラスで異年齢で関わることも多く家庭的な雰囲気生活出来ている
- ・やりたい気持ちはあるものの経験や知識が未熟なためどうやったらいいか決めていけなかったり、思うようにいかないとききかたえしてしまう傾向がある

保育者の願い

- ・自分の気持ちを言葉やしぐさで表していく
- ・友達と意見や考えがぶつかる経験をしながら共に遊びや生活を創り出していく充実感を感じていく

主な活動内容

自然とあそぶ

- ・水、砂、土、泥などの素材に触れ、感触を味わいながら全身であそぶ体験をしていく
- ・開放感を感じながら田んぼや広々とした園庭で夢中に遊ぶ
- ・草花や木の実・生き物を観察する中で特徴や不思議などを発見していく
- ・ESDの取り組み
廃材を利用した創作や製作遊びを通して、資源への関心を持っていく

土手 桜並木
田んぼ 薬科川
茶畑

仲間とのつながりと環境

- ・自然体の中での異年齢交流
- ・一緒に試行錯誤出来る友達の存在
- ・自らの遊びを振り返って次につなげていける話し合い等の機会や雰囲気
- ・じっくり取り組める時間や場所の確保
- ・栽培や収穫・クッキングの活動を通して、野菜や食材に関心を持つ
- ・友達と一緒に楽しく会食しながら心やお腹が満たされていくことを感じる

地域との交流

- ・地域の行事に参加したり、散歩等を通して地域の方と交流し、親しみを持っていく
- ・近隣小学校・こども園との交流を充実
- ・園庭開放、おしゃべりサロンの実施

わらびこ・JA
近隣農家

保育教諭の協働 ～自ら考え進んで何かをしようとする姿を支える～

- ・子どもの思いと保育者の願いを照らし合わせながら発達や状況を把握したことを職員間で共有を図り、見取る力をつけていく園内研修の充実、意見交換、語り合いをする
- ・定期的に振り返りと評価を行い、子どもの成長を確認する。その上で、状況に応じた環境の再構成を行い、職員間の意識の統一を確かなものへとしていく

何が出来るようになりたいのか」を整理し「何を学ぶか」を検討していく

提供の仕方やタイミングを工夫、素材、道具、教材の研究

評価(保護者アンケート・職員による園評価・学校評議員会・担当者による担当実施後評価)

家庭との連携・子育て支援（保護者と信頼関係の構築）

- ・保護者と子育ての楽しさや喜び、悩みの共有（保育参観会、懇談会、個人面談、運動会、発表会）
- ・情報発信の工夫＝見える化（おたより 絵本の貸し出し 食育活動 感染や災害及び施設整備の安全対策）
- ・特別な支援を必要とする子へのアプローチ（保健センター おしゃべりサロン 専門機関と連携）